

チキンコラーゲンオクタペプチド CCOP

血管保全機能や 血圧降下機能訴求に 国産鶏原料を用いた独自のコラーゲンペプチド

チキンコラーゲンオクタペプチド CCOPとは

国産のニワトリを原料として、機能性・製法研究を重ね開発した、新たな低分子コラーゲン素材です。メタボリックシンドロームによる動脈硬化の予防に着目し、血圧降下・血管保全機能を発見しました。新たな機能性と安全性を兼ね備えた、オリジナルの国産・低分子コラーゲンです。

CCOP（シーシーオーピー）とは

血圧を下げ、血管を拡張させる機能がある8残基のペプチド(オクタペプチド)を含むことから、Chicken Collagen Octa Peptides の頭文字より、CCOPと呼んでいます。

摂取目安量：2900mg

●安全性試験

単回過剰投与毒性試験(ラット)

最大投与量 6g/kg 体重の投与で異常なし (LD₅₀>6g/kg)

90日間反復投与毒性試験(ラット)

投与量 2.5g/kg 体重の投与で異常なし

変異原性試験

細菌を用いる復帰突然変異試験 (Ames 試験) で陰性

●血圧降下機能および抗動脈硬化機能

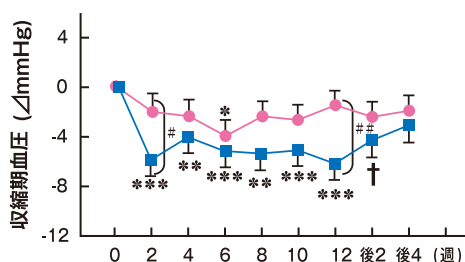
血圧が高めの成人120名に、CCOP 2.9g 含有飲料またはプラセボ飲料を摂取していただき、試験飲料摂取 12 週間、後観察 4 週間の計 16 週の血圧を測定しました。

また、動脈硬化度を示す指標として baPWV (※) を測定し、血管の柔軟性を評価しました。

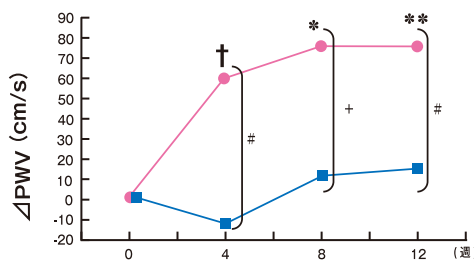
その結果、CCOP 摂取群ではプラセボ摂取群に比較して収縮期血圧が有意に低下しました。

また、試験飲料摂取期間を通じて血管が柔軟に保たれました。

収縮期血圧の低下



血管柔軟性の維持 (baPWV)



■ 試験食群 ● プラセボ群

試験食品群間の比較： + p<0.1, #p<0.05, ##p<0.01

摂取前値との比較： † p<0.1, *p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

※baPWV とは・・・上腕-足関節 脈派伝播速度 (brachial ankle Pulse Wave Velocity) の略で、上腕と足首における脈派波形を測定し、区間距離から血管の柔軟性を簡便に測定できる方法です。

規格値

たんぱく質 …………… 90%以上
水分 …………… 8%以下
灰分 …………… 2%以下
脂質 …………… 0.5%以下

pH …………… 5.0~7.0
一般生菌数 …………… 1000個/g以下
耐熱性菌数 …………… 1000個/g以下
大腸菌群 …………… 陰性

仕様

梱包形態
10kgアルミ袋

保管条件

常温 (冷暗所)
高温多湿を避けてください。